

## 運営委員会だより

何年かぶりに回ってきたこの欄の前半は、11月30日の近現代史ゼミ「教育－79年前と今」をテーマとする内藤講演に参加することによって20年前に高校教育現場を退いた高校教師生活37年を回顧させて頂けたことに感謝することから始めます。

私の出身高校の6歳先輩にあたる内藤さんは同じ社会科教員であるとともに所属していた群馬県高等学校教職員組合での教育文化活動のなかでその教育実践から大いに刺激と影響を受けた一人です。

今回の講演は1967年4月に群馬県高校社会科教員に採用された私にとって群馬の高校教育史を同時代的にたどることが出来、とても有意義でした。

就職の際に組合に入るのが当たり前であった時代の群馬県高等学校教職員組合は3千名近くの組合員が退職時の2004年には半減し、2024年の現在ではさらに少なくなってしまったことがショックであり、残念です。

1950年代～60年代の文部省と組合の力関係はほぼ互角でしたが、文部省の背後で戦後の教育政策に多大の影響を与えた自民党の文教族は教職員組合の弱体化を狙い教育二法(「義務教育諸学校における教育の政治的中立の確保に関する臨時措置法」・「教育公務員特例法一部改正法」共に1954年)の制定で後に勤務評定を職場に導入し、組合分裂を図ってきました。

さらに組合の力を削ぐために、「教育現場を組合活動が出来なくなるほど多忙化させること」と「多様な行政研修を張り巡らす」を強力に推進したのです。

半世紀後の今日、彼らの狙いが的中し、多忙化によって生み出された全国の過酷な労働現場から年間数千人の教師が精神疾患により休職を余儀なくされるにいたっています。

### 今後の日程

- 1/25(土)近現代史ゼミ(14:00～前橋市総合福祉会館)
- 2/7(金)スタジオ楽書会(13:00～)・運営委員会
- 2/8(土)自由画ひろば寺子屋(午前・午後)
- 2/11(火)ぐんま教育のつどい2025(14:00～勤労福祉センター)
- 2/14(金)原発と自然エネルギー研究部会(14:00～)
- 2/21(金)スタジオ楽書会(13:00～)・運営委員会

## 運営委員 針谷 正紀

後半はぐんま教育文化フォーラムに対する私の思いを述べたいと思います。フォーラムの前身である群馬県高校教育研究所からのメンバーのなかで過日、米寿を迎えた共同研究者である内藤さんを除くと私は最古参(81歳)になってしまいました。

月2回の定例運営委員会を時々休み、会議の司会をやる以外にあまり仕事をやらない名ばかりの役員になってしまい申し訳なく思っています。

そんな私が最近の運営委員会を中心とする諸活動について気づいた6点を箇条書き風に記します。

- ①2024年度総会以降、定例会議の前にレジュメが送付されてくるため、参加者が事前に議題について考え、会議に臨めるようになったこと。
- ②会議終了直後に議事録が届くため、会議の内容をリアルに認識できるようになったこと。
- ③長年継続されてきた県教委会議の傍聴が、簡易記録により運営委員に公開され、情報共有されるようになったこと。
- ④傍聴記録を踏まえた「ちょこっとコメント」がA4一枚に手際よくまとめられHPに掲載され、県庁記者クラブに毎回届けられていること。
- ⑤フォーラムが提供する諸情報が小中高の教育現場にどの程度届いているかをじっくり検討する必要があるのではないか。
- ⑥会員の高齢化への対応と現場の若手会員の拡大について継続して議論する必要があるのではないか。

会議のなかで若い頃のように積極的な発言をしなくなった私ですが、今後まともな運営委員になるよう可能な限り努力していきたいと思えます。

### 会費の送金先(郵便振替)

ゆうちょ銀行 00180-3-433070

口座名義 ぐんま教育文化フォーラム

\*郵便局の窓口やATMで上記の口座へお願いします!(手数料はご負担下さい)

\*ゆうちょダイレクトで送金する場合は  
記号番号 00180-433070

(手数料無料)

\*身近な運営委員への会費手渡しも大歓迎!